



2026年度

事業計画

**自 2026年 4月 1日
至 2027年 3月31日**

I. 2026年度 事業方針



- 「クルマをニッポンの文化に!」の下で始まった活動の加速
- 業界の課題解決に資する活動の**新規立ち上げ**

文化活動

- ✓ モータースポーツ委員会
3つのタスクフォース継続
- ✓ クルマ・バイクファン拡大
- ✓ CSP大賞 第6回開催

会員団体連携

- ✓ 委員会活動の充実
- ✓ 講演会・視察会等 開催

業界課題解決

- ✓ 税制要望活動
- ✓ 交通安全
- ✓ **マイナンバーカードを使った**
 - ①自動車登録の簡素化
 - ②健康運転寿命の延伸

新規



マイナンバーカードを活用した①自動車登録の簡素化と②健康運転寿命の延伸

自動車会議所として会員団体ネットワークを基盤に社会実装型プロジェクトを推進

【2026年度 事業規模:16億円 (一財)トヨタモビリティ基金による助成事業 (予定)】

プロジェクト概要

① 自動車登録簡素化 (DX化) プロジェクト

・書類・印鑑・手作業が含まれる登録手続きをデジタル化し、マイナンバーカードを起点とした行政・民間システムのデータ連携によって正確性・迅速性を高める



② 健康運転寿命延伸プロジェクト

・職業ドライバーを中心に疾病リスクを早期発見、その後の行動変容を促進する安全運転の継続や支援につながる仕組みを開発し、健康運転寿命延伸サービスの展開に繋げる (マイナ保険証とも連携)

* ①②ともに26年度単年度の活動ではなく中期的な活動



【ご参考】自動車登録簡素化推進には官・民 多方面の連携が重要

会員・理事団体の皆様には適宜具体的な協力をご依頼申し上げます

現状

自動車所有者・使用者



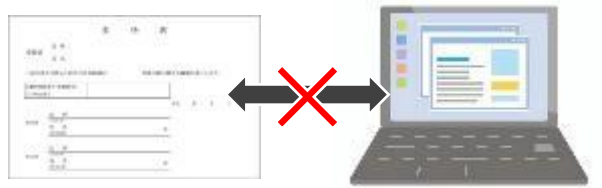
何度も同じ情報を入力/
押印や公的証明書類が必要

自動車販売店



紙面での書類作成・確認や
差し戻し・管理が煩雑

自販連・運輸支局



目視検査による書類とOSS申請データの
比較・修正・差し戻しが煩雑

目指す姿



マイナンバーカードによる本人認証と署名
をするため実印と公的証明書類が不要に



申請に必要なデータは自動で連携・作成
/紙の出力や送付も不要に



正しい情報による申請のため、
修正・差し戻しも不要に

業務フロー整理や電子化対象手続きの優先順位検討、トライアルへのご参画等について、現場課題の解決に向け、皆様と具体的に議論・検討させていただきたいと考えております。

【ご参考】健康運転寿命延伸プロジェクトの推進には官・民 多方面の連携が重要



会員・理事団体の皆様には適宜具体的な協力をご依頼申し上げます

現状

(高齢/職業) ドライバー



免許返納後の生活が心配
気がついたら認知や眼、身体が衰えている

交通事業者



従業員の体調や事故が心配
従業員をもっと大切にしたい

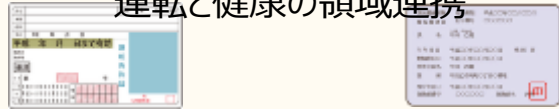
保険・金融・業界団体



事故や医療費のコストが増加する一方で、
健康や予防の価値が財務に反映されていない

目指す姿

マイナンバーカードを起点とした
運転と健康の領域連携



データ連携により健康リスクを早期に捉え、
年齢一律の免許返納ではなく“継続支援”へ



健康管理が“止める理由”ではなく、
社員を“守り、成長する仕組み”になる



健康・予防の成果を正しく評価し、
医療費・介護費削減効果を財務価値に転換

現場課題の共有、実際のデータ活用と支援の実証、成果設計の議論など、皆様と具体的な対話を重ねさせていただきたいと考えております。